

たんぱく質摂取を通じて“ウェルネス社会の実現”を目指す

『めざせ1日80g！たんぱく摂ろう会』

設立のお知らせ

「知識」と「行動」の両方が一度に学べる食育コンテンツ「たべる教科書」もお披露目しました

株式会社 明治、伊藤ハム米久ホールディングス株式会社、マルハニチロ株式会社は、6月17日に、たんぱく質コンソーシアム『めざせ1日80g！たんぱく摂ろう会』を設立しました。また、このたび本コンソーシアムの活動理念に賛同いただいた長野県佐久市、公益社団法人 日本栄養士会との連携が実現しました。

本コンソーシアムは、日本のたんぱく質摂取量の低下や低栄養という社会課題解決に対して、たんぱく質摂取の啓発を通じて、すべての年代の方が心身共に健康で安心して暮らせる社会の実現を目指しています。啓発活動においては、食品業界を中心とした産業界、地方自治体、職能団体が垣根を越えて連携します。今後は、教育機関や研究機関などとの協業も視野に入れ、活動してまいります。



本コンソーシアムを設立した背景には、現代日本人のたんぱく質摂取量が1950年代と同レベルまで低下していることへの危機感があります（厚生労働省「国民健康・栄養調査」より）。たんぱく質不足は、若い女性では過度なダイエットが原因となり、貧血などの健康被害や出産における低出生体重児の増加、また高齢者では、少食や活動量の低下などによって筋肉量が減り、やせすぎる結果に繋がります。やせすぎは心身の機能が低下する「フレイル」を招き、やがて要介護状態へと進む一因になるといわれています。ここ数年、日本においては飽食の時代でありながら、低栄養が大きな問題となりつつあります。

たんぱく質を多く含んだ食生活は、大切な家族や仲間、そして日本の将来においても明るい未来をもたらす一助となります。

6月17日に、「渋谷ヒカリエ ヒカリエホール」において行われた、『めざせ1日80g！たんぱく摂ろう会』設立記念発表会では、幹事会社である伊藤ハム米久ホールディングス株式会社、マルハニチロ株式会社の各社代表よりご挨拶を行ったのち、代表幹事会社である株式会社 明治 代表取締役社長 松田克也より、本コンソーシアムが目指すゴールや今後の具体的な取り組みについて発表しました。また、(公社)日本栄養士会 代表理事会長の中村丁次様より、現代の栄養課題として「栄養不良の二重負荷」についての解説と栄養課題解決のためのたんぱく質の重要性についてご紹介いただきました。

加えて、『めざせ1日80g！たんぱく摂ろう会』のプロジェクト第一弾である食育コンテンツ『たべる教科書』のお披露目も行いました。『たべる教科書』は(公社)日本栄養士会監修のもと作成した、小学校の中・高学年を対象にたんぱく質の大切さを学び、実際に食べることで理解を深めることができる、たんぱく質にまつわる「体験学習型の教科書」です。

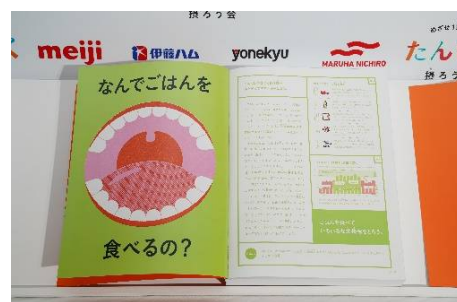
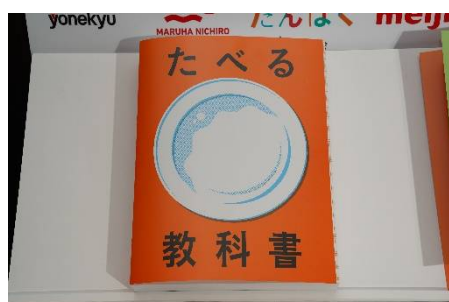
発表会では、『たべる教科書』を用いた“たんぱく質にまつわる公開授業”を、快適健康都市として健康に関する取り組みを推進している長野県佐久市と連携し、9月上旬に長野県佐久市内の小学校にて開催することを発表しました。

また、『めざせ1日80g！たんぱく摂ろう会』が(公社)日本栄養士会と実施していく取り組みとして、『たべる教科書』を用いた「たんぱく質について学べるイベント」を、開催していく構想についても発表しました。本イベントは、47都道府県の中で最も「朝食の欠食率」が高い沖縄県から開催することを決定しました。朝食の重要性とともに朝食でたんぱく質を摂ることの大切さを啓発していくことで、沖縄の皆さまの健康長寿に貢献したいと考えております。

『めざせ1日80g！たんぱく摂ろう会』では『たべる教科書』以外にも、たんぱく質に関する消費者調査や研究成果の発表などを行うことでたんぱく質の重要性を発信し、社会課題である低栄養の課題解決、その先のウェルネス社会の実現に向けて尽力してまいります。

■たべる教科書の概要

『たべる教科書』は(公社)日本栄養士会監修のもと作成した、小学校の中・高学年を対象にたんぱく質の大切さを学び、実際に食べることで理解を深めることができる、たんぱく質にまつわる「体験学習型の教科書」です。教科書の前半部分には、「たんぱく質の重要性」や「各種栄養素」、さらには「体の仕組み」などについてのさまざまな解説が掲載されており、「読んで学べる」内容で構成されています。一方、後半部分には、「たんぱく質を十分に摂ることができる朝ご飯」を調理できる「ミールキット」が同梱されており、たんぱく質の大切さについて「食べることで理解を深める」ことができる内容になっています。



■『めざせ1日80g！たんぱく摂ろう会』概要

●名称 めざせ1日80g！たんぱく摂ろう会

●コンソーシアムロゴ



●参画企業 株式会社 明治／マルハニチロ株式会社／伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

●連携 公益社団法人 日本栄養士会／長野県佐久市

●設立趣旨 昨今のコロナ禍の影響もあり、健康に対するさまざまな課題が顕在化し、「心身ともに健康であることの大切さ」をこれまで以上に実感することが多くなっています。これらの健康課題に共通して見られるのが、低栄養という問題であり、その要因の一つが「たんぱく質摂取量の低下」だと言われています。そうした中、日本人のたんぱく質摂取量低下の改善を目的に、食品メーカー各社の想いが一つになった結果、今回のコンソーシアムの発足に至りました。

●活動内容 ウェルネス社会（人生100年時代と言われる中、老若男女、すべての人々が心身ともに健康に暮らせる社会）の実現に向けて、さまざまな地域社会において、たんぱく質摂取の重要性についてメッセージを発信していきます。第一弾の取り組みとしては、健康快適都市としてさまざまな取り組みを展開されている長野県佐久市と連携して、市内の小中学生に向けた食育授業を行います。また、朝食の欠食率が高いとされる沖縄県では、たんぱく質が一番不足しがちな朝食時にしっかりとたんぱく質を摂取することを啓発するため、たんぱく質について学べるイベントを行っていきます。

●WEB サイト <https://tanpakutoroukai.jp/>

■各社コメント

●株式会社 明治 代表取締役社長 松田 克也

昨今では、経営においても SDGs や ESG への取り組みが重要となっており、事業活動を通じて社会課題を解決する、いわゆるサステナビリティ活動が企業に求められております。私たち食品業界においても、食品の健康価値を通じて社会の課題を解決し、将来にわたってすべての人々が安心して暮らすことができる社会の実現への貢献が欠かせません。たんぱく質の可能性を通じて、すべての年代の方が心身ともに健康で、安心して暮らせる社会の実現を目指してまいります。

●伊藤ハム米久ホールディングス株式会社 常務執行役員 加工食品事業本部長 兼 伊藤ハム株式会社 代表取締役社長 伊藤 功一

今回の取り組みは、生活者の皆さまが、たんぱく質を 1 日 80g 摂る食生活に変わることを促し、現代社会における健康課題を解決することに繋がると信じております。たんぱく質を手軽に摂れる食肉および食肉加工品を社会に提供する事業に長く携わってきた弊社は、全ての人々が心身ともに健康に暮らせる日本の未来を目指しこの取り組みに貢献していきたいと考えています。

●マルハニチロ株式会社 常務執行役員 小梶 聡

マルハニチロは、140 年を超えて水産物由来の良質なたんぱく質を広く供給してまいりました。「海といのちの未来をつくる」というブランドステートメントのもと、事業活動を通じてさまざまな社会課題の解決に取り組んでおります。

このたびの企業連携により、長年培ってきた水産物に関する知見を生かし、日本人のたんぱく質摂取量の低下や低栄養という社会課題の解決のためによりいっそう役割を果たしてまいります。

<本件のご取材に関する報道関係者からのお問い合わせ先>

『めざせ 1 日 80g ! たんぱく摂ろう会』PR 事務局 担当 : 上野 (070-4333-6084)、 本間
Tel: tel:03-6826-7733 Fax: 03-6402-0302 Email: support@tanpakutoroukai.jp